



# 道徳通信

教員用

NO. 16

平成28年10月27日発行  
道徳教育推進委員会

## 第2回研修会報告

10月21日、千葉県総合教育センター大ホールを会場に第2回高等学校等道徳教育推進教師研修会が開催されました。

今回は、平成28年度道徳教育指導者養成研修（中央と関東・甲信越ブロック）参加者の報告、特別支援学校における実践報告、教育庁指導課担当指導主事の講義という内容で行われました。

感じたことも交えて、報告いたします。

### （1）市原緑高等学校の実践

#### ア 全校道徳の実施

市原緑高等学校では、1年生に限定せず、LHRにおいて全校道徳を年間2時間実施しています。この実践の効果は下記のとおりです。

- ① 数多くの教員が道徳の指導をすることで、道徳の授業展開を全教員が意識できること。
- ② 授業練磨の授業公開において、全校道徳の授業を公開するなど、中学校との連携を意識した取組が広がること。

#### イ 研究協議会やアンケート調査の実施

アの取組の前提もあり、学年毎の分科会でテーマ毎に教材作成の研究協議ができる環境もあることから、意識が高まっているようです。

また、生徒アンケートの結果を、次年度以降の取組に反映させ、PDCAサイクルを回しているとのこと。本校でも、年度末の実施が可能であれば、ぜひ行いたいと考えます。

### （2）松戸南高等学校の実践

三部定時制の松戸南高等学校は、若手の教員が多く、積極的に道徳教育を実践している印象を受けました。

#### ア 自主教材の積極的な活用

10時間実施のLHRでの展開において、3時間は自主教材で実施しているとのこと。生徒の実態を踏まえた取組が可能であり、教材の相互利用ができ、改善を進めることで完成度も上昇していきます。

#### イ 初任者研修の活用

初任者研修では、道徳教材の作成の研修が毎年行われているとのこと。

今まで気づけなかったのですが、本校の初任者研修の一環として、作成した教案で、どこかのクラスでゲストティーチャーとして道徳授業を実施してもらうことも考えていきたいと思えます。

## 映像教材の活用について

先日、映像教材を活用しての授業を実施していただきました。

全て流してから考えさせるのではなく、場面ごとに区切って考えさせる工夫が必要と感じました。

DVDには、実際に行った授業の様子も収録されています。実施前に参考にいただければ幸いです。